

東京都の福祉保健行政への意見・要望等（自由意見）

東京都の福祉保健行政への意見や要望等について、自由に書いてもらったところ、442人（「特になし」は除く。）から要望や意見が寄せられた。

内容は極めて多岐にわたっており、紙面の都合上全てを掲載することはできないが、意見の趣旨を損なわないように配慮しながら意見をまとめ、掲載した。

主な意見・要望の内訳（単位＝件）

内 容		件数
1	福祉のまちづくり	65
	ハード面の整備	47
	ソフト面の整備（心のバリアフリーなど）	18
2	子供	42
3	障害者	37
4	高齢者	25
5	生活福祉（福祉人材、生活保護、民生委員など）	75
6	医療・健康（コロナ関係を除く）	21
7	新型コロナウイルス関係	33
8	都政一般	75
9	広報・情報提供	20
10	本調査に関するもの	82
11	その他	57
合 計		532

※ お一人で複数の内容についてご意見・要望を記入いただいた場合は、内容ごとに集計している。

1 福祉のまちづくり（ハード面、ソフト面）

- ・ 乳幼児が使えるトイレ、授乳室、おむつ替え設備について包括的にまとめられたマップがほしい。現状、ユーザーからの投稿をベースにした民間のwebサイトしかなく、情報が不正確、古い事がある。せっかく整備が進んできているので、まとめたものがあると安心して外出できる。（40代・女性）
- ・ ベビーチェアとベビーベッドが違うトイレの個室にあったり、大きいベッドがある多目的トイレにはベビーベッドやベビーチェアがない。バスのノンステップの高さが高い。都内の歩道は狭いのにバスを待つスペースが無く、私用地に並んでいるところがある。人がすれ違えないし、自転車用の道路が全然整備されなくてとても危険。いつか事故が起こると思う。（30代・女性）
- ・ トイレが改札の中にはあるので、入場券を買って改札を入り利用している。公共の場にはトイレを用意すべきと思う。（50代・女性）

- ・ 多目的トイレはたくさん設置されてきたが、規格がバラバラで使いやすさの差が激しい。障害の内容によって求めるあり方が違うので画一するのは難しいだろうがせめて便座の高さなどは統一してほしい。(50代・女性)
- ・ 保育園児が近くの公園で毎日来て遊んでいる。これは保育園に庭がないためと思われるが毎日10人〜20人と体列を作って近くの公園に通っている風景を見ると危険だなと思わざるを得ない。(50代・女性)
- ・ 母が聴覚障害の為、地震や何かあった時 電話があっても役に立たず、どなたか声をかけに来て下さっても気がつかなかったりするので、連絡ができるいい方法はないものかと思っている。(70代・女性)
- ・ バリアフリーの取組が進み、駅などでエレベーターやエスカレーターが増え便利になっていると思う。エスカレーターは基本歩行禁止だが、東京だと急ぐ人の為に右側があげられて使用されている。しかし、子どもと一緒に手をつないで並んで乗る人や体の都合により手すりをつかむ手が右側でないとだめな人もいるので、右側がふさがれてしまうことがある。歩行が禁止なのだから特に問題はないはずなのに、後ろでイライラしている人を見かける。そのような人は階段を使えばと思うがエスカレーターしかないところはどうしたものか？バリアフリーの取組はとてもありがたいことだとは思いますが…(50代・女性)
- ・ 都心や地元の市の中心部は、比較的バリアフリーをはじめとした福祉保健は進んでいると思いますが、自分の住んでいる辺境の地も対応して頂きたい(60代・男性)
- ・ 最近道路が歩道と自転車道と区別されて歩きやすくなりました。けれども、まだ歩道に入って来る自転車を怖く思う機会はある。交差点から歩道に入る自転車が多い印象を受ける。もう少し工夫が必要と感じる。(60代・女性)
- ・ 自転車用車道について、自転車で走行する際に車にぶつかりそうになることがよくあり、正直怖い。自転車用のマークなど色々考えられていると思うが、狭い道路など車と接触するギリギリな場面が多く何か対策があればいいと思う。(20代・女性)
- ・ 座りにくいベンチのような排除アートをを見ると、ホームレス対策に見え冷たい街だなと感じる。全ての人に優しい都市になって欲しい。(40代・男性)
- ・ 高齢化が進むので、街にベンチが増えることを望みます。公共交通機関のホームや待つ場所にも座れる場所が増えると高齢者以外の人でも助かると思う。(50代・女性)
- ・ コロナ感染の世の中になってから、電車での人身事故のあまりの多さに心が痛んでばかりいる。何故、こんなにも事故が多いのに、ホームドア設置がされないのでしょうか。踏切にも原因が多く対策の必要がかなり早急に必要(40代・女性)
- ・ 障害者用駐車場、電車の優先スペースや優先席など設備としては整いつつあるように思えるが、必要な人が、利用できているかは、疑問視される。個々への理解と教育が求められ、福祉に対する意識向上が更に必要とされるように思われる。今後の福祉への活動に期待している。(50代・女性)

2 子供

- ・ 公立小中学校への不満から、私立学校へ進学される方にまで補助が出るのはおかしいと思う。納得がいけない。希望して選択しているのですから支払えばいいと思う。苦勞して苦勞して働いて、保育料を支払いながら働いてきたことを思うと何でもかんでも無償化されるのはどうなのでしょう。これからを思うと、老後の年金や税金に子ども3人育ててきたことが反映されないことは不満に思う。(50代・女性)
- ・ 保育所で働いていますが、グレーゾーンの子が多く、ここを見つけ出して親子共に支援をしていくことが出来ればと思うことが度々ある。(40代・女性)
- ・ ひとり親や低所得世帯に対しての支援等の申請のハードルが高すぎて利用しにくい。申請書類の多さ、受給資格がせまい。(40代・女性)
- ・ 現在、障害児を育てて2年目になるが、医療ケアのある子供は保育園に入れず、働くことができません。今は育児休業中ですが、2年目になり給料もなくなりこの先も復職できる可能性は、保育園に入れないことでかなり低い。医療ケアのある子供も入れる保育園を増やしたり、(看護師さん配置など)育児休業期間を延ばしたりできる制度をつくるなど、早急に改善してほしい。心よりお願い致します。(30代・女性)
- ・ 親の所得に関わらず、放課後デイサービス(障害をもった子供対象)の料金は一定にして頂きたい。同じサービスを受けるのに、しかもサービスを受けるのは子どもなのに、料金が異なるのは不公平です。応能という意味でも子ではなく親の能力によっているのはおかしいと思います。(50代・男性)

3 障害者

- ・ パラリンピックは多くの人に障害者スポーツの姿を知る機会になり、テレビを通してですが取り組み続けた技を発揮する姿を観ることができました。大会に出場する選手は一握りで、もっと多くのパラスポーツ選手がいると思うが、街中で障害者を見る機会からすると、全体人数からは少数なのではないでしょうか。だからこそユニバーサルデザイン、バリアフリーの利用者を増やす取組みも整備を増やすことと同様に重要。実際に多くの人が利用し、多くの改善意見があることで、長い目線でより良いものになると思っている。(60代・男性)
- ・ 50代になる娘(知的障害4度)は、今まで飲食店で調理補助や保育園にてトイレ掃除を勤めましたが、飲食店は震災でなくなり、保育園は職場の人のいじめがあり、仕事を続けることが出来ず、残念でたまりません。現在は、家の中だけだと心がふさいでしまうので、社会福祉事業団で掃除等をさせて頂いている。仕事を捜していますがなかなかありません。今までを振り返り子供のために何をどう学んだら良いか手探りの50年間でしたが、今社会福祉事業団で受けているご指導は、もっと前に出会えていたら1人で色々出来る人生があったかもしれないと親として反省と後悔の感情でいっぱいになる。もっと世の中を生きる為に必要な世の中の決まりごと、常識とかを教えた方が良かったと思う。遅ればせながら今やっと出会えた社会福祉事業団でのご指導に沢山のことを教えて頂いて、本人も生き生きと毎日楽しく通っており、世の中の知的障害のあるお子様をお持ちの家庭の方にこのような指導の場所のあることを知って貰いたい。(80代・女性)

- ・ 視聴覚障害者の叔母の代理でレストランを予約した時にとっても嫌そうに「どうやってうちの店を調べたんですか?」「本当に大丈夫ですか」と言われとても嫌な気持ちになった。コロナ前はマスクなしで手話と口の動きで会話ができていたのにマスクをつける事で少し会話がでなくなった。(30代・女性)

4 高齢者

- ・ 高齢者の1人暮らしが多いので安心して暮らせるようにコミュニケーションをはかり、その人それぞれのニーズに合わせた方法で暮らすことができたと思う。(50代・女性)
- ・ 今は何とか一人で暮らしているが、病気など将来、一人暮らしが出来なくなった時、どうしたら良いか心配。両親の介護で苦労したので、セーフティーネットの充実を願っている。経済的にも、有料ホームに入るのは難しい。(80代・女性)
- ・ 高齢者介護を利用する際の手続きが複雑すぎる。仕事をしている人は仕事を何回も休んでまで面接をしないとしない(会社からもあまりよく思われない)。この辺の環境整備も必要だと思います。(40代・女性)

5 生活福祉（福祉人材、生活保護、民生委員など）

- ・ 福祉の仕事をしている。今は利用できるサービスが人手不足により、足りていない状況。専門的な知識が必要な仕事と思いますが、人の定着がとても課題であると思う。(30代・男性)
- ・ LGBTQ+についても触れて欲しい。同性婚が認められないうちは、自分は社会から疎外されている思いがなかなか消えず、障害者や高齢者を助けようと思えない自分もいる。もちろん、自分が社会に貢献できることはこれからも続けていくが、ただ、このまま自分が与えるだけで自分のアイデンティティが認められない社会は空しく思う。少しでも良い方向に話が進むことを願っている。読んで頂きまして、ありがとうございます。(20代・その他)
- ・ 「強制入院」(精神保健福祉法)の廃止を求めている意見があるが、これは実態やメリットをあまり把握していない主張だと思う。本人に病識が無い場合に入院等の同意を得るのは困難。(40代・男性)

6 医療・健康

- ・ バリアフリー等やさしい町作りも理解していますが、身体維持管理をする為の施設等も必要だと思う。年々高齢者増えていく中で介助者、福祉施設等人数等少ないので自立に向けての支援をしていただきたい。(40代・女性)

7 新型コロナウイルス関係

- ・ ワクチンに関する情報をもっと広いあらゆる角度からの意見やデータを提示してほしい。ワクチンを打たない選択をした人に対し同調圧力をかけることや様々な場面で不利になるような制度をつくらないでほしい。(50代・女性)
- ・ 生活の不安というよりか、仕事上、病院、その他施設へ足を運びますが、感染の不安はあります。行政に対しては、感染者の正確な状報と、感染予防のインフラ整備の充実を求める。(60代・女性)

8 都政一般

- ・ 公共から民間まで、実情に応じた施策の立案及び介入の度合いに留意して頂きたい。一律的な啓蒙は反作用的に新たな差別を惹起すると考える。人間の本質に目を背けずに議論を(40代・男性)
- ・ 生活困窮者に対する支援制度が有り大変有り難く思う。一方で制度利用にたどりつけず、あきらめてしまう人や相談したにも関わらず(正当な理由で)窓口で追い返されたり、悲しい思いをされている方が多い現状に心が痛む。色々な課題が背景に有るのだと思うが、必要な人に適切な制度が利用されるシステムが整うと良いな…と思う。(30代・女性)

9 広報・情報提供

- ・ インターネットやスマホが情報発信の中心ですが、以前の様に駅や掲示板に公示してほしい。(70代・女性)
- ・ 子育てをしているときや、自分が困っているとき、まずどこの窓口で相談すれば良いのかわかりません。ピンポイントで困っているときは案内してもらえれば解決しますが、総合的に受けられるサービス、支援や窓口を紹介してくれる場所を作ってください。自分で各課に電話してたらいい回しにされると、頼る事が出来ないと感じる。自分で探してネットで見つけれられる人は良いですが、それが出来ない人の立場に立って、困ったときの支援を全て教えられる場所を作るのが行政の使命と考える。(40代・女性)
- ・ 行政レベルでも、取組や条例の整備を進めて頂いていると思うが、住民や地域レベルまで届いていない。取組みが始まって、意図が明確でないものは分かりづらい。ニュースリリース等での報告も周知したという事実にはなるが、届くべき所に届いていないのなら目的として達成されていないと思う。(20代・女性)

10 本調査に関するもの

- ・ 過去いろんな統計調査に協力しましたが群を抜いて質問項目が多すぎる。おそらく調査結果に偏りなどが生じて、推計が困難ではと思う。もっと統計的なレビューを適切に受けて実施してください。(40代・男性)
- ・ ネット環境の普及に応じて、今後ネットでの回答も可能とした方がいいと思う。(60代男性)

- ・ 今回の調査結果を活かして高齢者や障害のある方も住みやすい街づくりをお願いしたい。私のような健常者ではなく実際に困っている方に確認するのが一番だと思うので難しいとは思いますが、実際に困っている人に確認を進めていただけたらと思う。(40代・男性)

11 その他

- ・ 特に意見や要望はありませんが、コロナ対応に関わる全ての方にお疲れさまと言いたいです。幸いにして、私や親族は疾患になることなく済んでいます。当事者の方々は大変だったと思います。またこのような中でも福祉保健行政を一定の水準に保つために、並みならぬ関係者の熱意、情熱、使命感により支えられていたと考えるならば感謝する次第です。ありがとうございます。(50代男性)